

# 創

六年

【画数】12  
【筆順】ハ 倉 倉 創  
【オ】ソウ  
【フ】ソウ

成り立ち



昔、刀傷のことを「刃」と言いました。これが、「刀傷」の本字です。しかし、「刃(刀の「は」)」という字とまちがいがいやすいため、「ソウ」の音を表した「倉」という字を加え、「創」としました。

そのため、「刃」は「刀」となり、「リ」になってしまいました。「倉」という字があれば、「刃」と書かなくとも、まちがわれる心配がなくなったからです。

「刀傷」という意味の字ですが、彫刻する時、初めに目印のため、刀傷をつけるものだから、物を「作り始める」こと、また、物を「初めて作る」ことを「創作」と言うようになりました。「刀傷」【例】刀創、銃創。「初めて作る」【例】創設、創立、創設、創業、創建、創意、独创。

使い方

▽わが校は一九四〇年に創設されました。今年で創立五十周年をむかえます。  
▽学問をする上でも仕事を上でも、創意工夫が大切です。独创性というのは、貴重な資質です。

熟語例

▽刀創(刀傷。刀でつけられた傷のことです。)  
▽銃創(銃の弾でつけられた傷)  
▽創設(今までに無かったものを、初めて作り出すこと。「宇宙はだれによって創造されたのだろう」などというふうに、つかいます。)  
▽創立(学校や会社などを初めて作ること。)  
▽創設(学校や会社などを初めて設立すること。)  
▽創業(新しく事業を始めること。「創業以来、百年の歴史を持つ会社」などというふうに、つかいます。)  
▽創建(初めてうち建てること。「わが社は、祖父が創建したものだ」などというふうに、つかいます。)  
▽創意(新しい考え。「創意工夫をこらす」といえば色々新しい考えや工夫を出して、努力すること。)  
▽独创(独自の考えで新しいものを作り出すこと。)

# 装

六年

【画数】12  
【筆順】一 艹 装  
【オ】ソウ・シヨウ  
【フ】よそおひう

成り立ち



「大きくてりっぱである」という意味を表した「壯」(漢音はシヨウ)と、「衣」とを組み合わせて作った字です。

「りっぱな衣服」という意味の字です。「着飾る(よそおう)」という意味に使われます。【例】装身(具)、装飾、盛装。

単に「衣服」の意味にも使われます。【例】服装、正装、変装。

「備えつける」意味にも使われます。【例】装備、装置。また、「書物の体裁」の意味にも使われます。【例】装帧(丁)、装本、革装。

使い方

▽初もうでには、美しく装った人々で神社の境内がいっぱいになります。  
▽わたしも、七五三のお祝いには、盛装して装身具も身につけ、お宮参りをしました。  
▽どんなにりっぱな装置でも、利用しなかったなら、宝の持ちぐされです。

熟語例

▽盛装(盛んに着飾ること。花やかな装い)  
▽装身具(身を美しく装うための道具。髪飾りや耳輪や首飾りなど)  
▽装飾(身を美しく装飾すること。「部屋を飾る」ことにも使います。【例】室内の装飾)  
▽服装(衣服で身を装った様子を言います。単に「衣服」の意味にも使います。)  
▽装置(備えつけた設備)  
▽装帧(丁) (「書物の装い」という意味で、「本の体裁」や表紙のデザインのことを言います。装本)  
▽革装(表紙が革で装帧された書物)